

マルコによる福音書7:1-23 律法を理解することの大切さ

今日の聖書箇所であるマルコによる福音書7:1-23では、イエスがマルコによる福音書3章で、ユダヤの宗教指導者たちであるファリサイ派の人々と対決する際に関わった人々のもとに戻ってきます。この聖書箇所のポイントは、律法、すなわち十戒の目的を理解することであることを、事前にお知らせしておきます。そこでまず、教理問答の第15問の問と答えを皆さんに思い出していただきたいと思います。その問いは、「誰も神の律法を守ることができないのであれば、律法の目的は何ですか?」というもので、その答えは「..... 私たちが神の聖なるご性質とみこころを知り、私たちの心の罪深さの本質と不服従を知り、それによって、私たちには、救い主が必要であるということを知ることです。また律法は、私たちが救い主の御前にふさわしい人生を生きることを教え、勧めます。」というものです。イエスは今日の聖書箇所、このような律法の目的を取り上げています。この点を念頭に置いて、マルコによる福音書7:1-12を読みましょう。

¹さて、パリサイ人たちと、エルサレムから来た何人かの律法学者たちが、イエスのもとに集まった。²彼らは、イエスの弟子のうちのある者たちが、汚れた手で、すなわち、洗っていない手でパンを食べているのを見た。³パリサイ人をはじめユダヤ人はみな、昔の人たちの言い伝えを堅く守って、手をよく洗わずに食事をするのではなく、⁴市場から戻ったときは、からだをきよめてからでないで食べることをしなかった。ほかにも、杯、水差し、銅器や寝台を洗いきよめることなど、受け継いで堅く守っていることが、たくさんあったのである。⁵パリサイ人たちと律法学者たちはイエスに尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは、昔の人たちの言い伝えによって歩まず、汚れた手でパンを食べるのですか。」⁶イエスは彼らに言われた。「イザヤは、あなたがた偽善者について見事に預言し、こう書いています。『この民は口先でわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。⁷彼らがわたしを礼拝しても、むなししい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。』⁸あなたがたは神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っているのです。」⁹またイエスは言われた。「あなたがたは、自分たちの言い伝えを保つために、見事に神の戒めをないがしろにしています。¹⁰モーセは、『あなたの父と母を敬え』、また『父や母をののしる者は、必ず殺されなければならない』と言いました。¹¹それなのに、あなたがたは、『もし人が、父または母に向かって、私からあなたに差し上げるはずの物は、コルバン（すなわち、ささげ物）です、と言うなら——』と言って、¹²その人が、父または母のために、何もしないようにさせています。¹³このようにしてあなたがたは、自分たちに伝えられた言い伝えによって、神のことばを無にしています。

ファリサイ派の人々は、手を洗うことについてイエスに問うために来ましたが、イエスはこの機会を利用して、さらに大きな問題に取り組みました。イエスはここで、人間の言い伝え（人間の命令）と神の戒めという、相反する二つの考えを取り上げています。イエスは、「人の言い伝え」や「人間の命令」について7回も言及し、それを神の戒めや神の言葉と対比させています。では、イエスが何を言っているのかを理解することから始めましょう。第一に、人の言い伝えとは何のことなのでしょう。まず、第一に知っておかなければならないのは、これはユダヤ教のラビの口伝（くでん）のことであり、最終的には西暦200年頃にミシュナーとしてまとめられました。ミシュナーは、律法、あるいはトーラーに関連しています。律法（トーラー）とは、出エジプト記20章にある十戒と、聖書の最初の5つの章に含まれるモーセに与えられた命令の総称です。十戒と、そこから派生してトーラーに含まれるようになった命令を忠実に守ろうとして、ユダヤ教のラビたちはトーラーから613の命令を見つけ、それらの命令に従うための方法を具体的に示しました。イエスは、これらの命令に従うために彼らが考え出した方法の問題点をここで指摘しています。もちろん、ここで取り上げられているのは、儀式的な清めの問題です。これは、食べ物を食べる前に手の汚れを洗い流すという単純なものではありませんでした。具体的な細かい手の洗い方についての方法がありました。まず、食事の前に少量の水を手につけ、手首まで水が行き渡るように手を少し上げ、手を下げすぎず、指先から水を流すというものでした。この方法が適用されるのは通常の食事の前です。この4節で述べられている「市場から戻ったときは、からだをきよめてからでないで食べることをしなかった。」という言葉を見る限り、この場合、食事をする前に単に手を洗うだけでなく、市場の不浄さから身を清めるために、全身を洗うことが求められていたことを指していると考えられます。しかし、律法の中で実際に手を洗うことが義務付けられているのは祭司だけなのです。出エジプト記30:18-20には次のように書かれています。¹⁸洗いのために洗盤とその台を青銅で作り、それを会見の天幕と祭壇の間に置き、その中に水を入れよ。¹⁹アロンとその子らは、そこで手と足を洗う。²⁰彼らが会見の天幕に入るときには水を浴びる。彼らが死ぬことのないようにするためである。つまり、アロンとその息子たち、言い換えれば祭司たちだけが、礼拝のために幕屋に入る前に、身を清める必要がありました。ここで必要とされているのは、儀式的な清さであり、神を礼拝する際に、霊的な清さと神聖が必要であることを象徴的

に示すことでした。この単純な命令から、ラビたちは長い年月の間に、神の聖なる性質を示すことの重要性を見失い、外的な規則（のシステム）に置き換えてしまったのです。そして、この外的な規則は、手や体を清めることにとどまらず、生活のあらゆる面に及んでいきました。イエスの死後も、正統派ユダヤ教徒はこの規則のシステムに新しい規則を加え続けてきました。例えば、白髪を抜いて働こうという誘惑に駆られないようにするために、安息日に鏡を見てはいけないというような規則は、外的な規則をたくさん作ることで、律法を守ろうとするミシュナーの姿勢をよく表しています。

第二のポイントは、イエスが、これらを「人間の言い伝え」と呼んだこと自体が、これらの宗教指導者たちにとって不快なことだった点です。彼らは、このようなラビの教えを聖書そのものと同じレベルに置いて、人々に教えていました。彼らは単なる十戒の解説や説教における適用であるとは考えていませんでした。律法学者やファリサイ派の人々にとって、これらの言い伝えや伝統は、書かれた神の言葉である律法と同じぐらいの権威を持っていました。結局のところ、この点がこの状況における、イエスと律法学者たちの対立点なのです。書かれた神の言葉だけが権威を持つのでしょうか、それとも神の言葉と同じレベルの教えが他にあるのでしょうか。この点は、今日でも多くの対立を引き起こしています。例えば、合同メソジスト教会は、同性婚や同性婚をした人たちの聖職叙階を認めています。このようなことが起こりうる理由は、聖書がもはやその教派において権威を持たないからなのです。現代社会の感覚が、この教派内のキリスト教神学者や指導者たちの聖書の見解に影響を与え、彼らは聖書の明確な命令よりも、自分たちの考える寛容と愛を優先させているのです。イエスは、儀式的な清めの問題から離れ、彼らが誤った解釈をしているコルバンを持ち出すことで、まさにこの点を取り上げています。ここでは、宗教指導者たちが、相反する聖書箇所を利用することで、自分達への支持を取り付け、彼らの懐にお金が入る方法を見いだしているのです。

出エジプト記20：12にある十戒の5番目の戒めには、「**12**あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。」と書かれています。通常、これは、子供たち、あるいは息子や長男が、必要であれば病める両親を経済的に養う責任を負うことを意味しています。現代の社会と同じように、当時の社会においても、親を敬うこと、すなわちお金や財産面で親の面倒を見ることをしたくないと考えた息子たちがいたことは間違いないでしょう。このような人たちのために、ラビや宗教指導者たちは長年にわたって、5番目の戒めを無視するための「回避策」を考え出しました。それは、あなたが自分のお金と財産を神と神殿の働きに捧げるという誓いを立てたなら、その神への誓いは、両親を敬えという命令よりも重要なことなので、神への誓いが優先されるという解釈でした。この誓いは、今日の税法でいうところの「繰り延べ寄付（死後に自分の財産を寄付するもの）」のようなものです。基本的には、自分の資産の一定部分を慈善団体に寄付することを生前に誓約し、自分の死後、その団体がその資産を受け取ることができるというものです。ただし、自分が生きている間はその資産を自分の好きなように使い続けることができます。これが、コルバンで起こっていたことなのです。つまり息子たちはそのお金を自分のために好きなように使い続け、自分が死んだら、お金を神殿に納めるようにしていました。ここで、重要なのは、そのお金は神に捧げられたものだから、両親のためにお金を使うことはできない、とこれらの息子たちが両親に向かっていうことができたという点なのです。つまり、現代のキリスト教と呼ばれるものの多くがそうであるように、彼らは神の命令に明らかに背きながらも、自分達の主張があたかも霊的なものであるかのように振る舞うことができたのです。ここで、ファリサイ派の主張の2つの問題点が明らかにされています。彼らは、律法主義的であり、神の聖なる性質を定義するために、新たに聖句（規則）を付け加えていました。同時に、彼らは聖句を無視し、聖句に従わない方法を見つけた現代のリベラリストのように、本質的に聖句を拒絶していたのです。

神の命令とは何なのでしょう、という二つ目の質問に、答えを出してきました。基本的に神の命令とは、十戒のことですが、イエスの頭の中には聖書のすべてがありました。ゆえに、イエスは13節で、「**神のことばを無にしています。**」と言っているのです。つまり、イエスは本質的に、自分たちを聖なる者とし、神との正しい関係に導くことを意図した、人間が作った「人の言い伝え」が、彼らが必死に従おうとしている神の言葉そのものと正反対の方向に導いていると主張しているのです。つまり、ファリサイ派の人々は律法の本来の目的、神の言葉の最も重要なポイントを見落としているのです。では、律法主義的に外見的に律法に従っていることを示す方法、あるいは（コルバンのように）命令に従うことを回避する方法を使って神との正しい関係に導かれるのではないとすると、旧約聖書の十戒に代表される神の命令の目的は、何なのでしょう？イエスが今、この地域の人々、そして弟子たちと共に取り上げているのは、神の命令の目的を明らかにすることです。それでは、マルコによる福音書7:14-23を見ていきましょう。¹⁴

イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。「みな、わたしの言うことを聞いて、悟りなさい。¹⁵外から入って、人を汚すことのできるものは何もありません。人の中から出て来るものが、人を汚すのです。」¹⁷イエスが群衆を離れて家に入られると、弟子たちは、このたとえについて尋ねた。¹⁸イエスは彼らに言われた。「あなたがたまで、そんなにも物分かりが悪いのですか。分からないのですか。外から人に入って来るどんなものも、人を汚すことはできません。¹⁹それは人の心には入らず、腹に入り排泄されます。」こうしてイエスは、すべての食物をきよいとされた。²⁰イエスはまた言われた。「人から出て来るもの、それが人を汚すのです。²¹内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、²²姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、²³これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです。」

イエスは、まず集まった群衆にその答えを示し、次に家の中で、弟子たちだけにさらに詳しく解釈を示しました。ここから私たちが学ぶことができる事実は、次のようなものです。ファリサイ派の人々にとって罪とは、律法に違反する（外側に見ることができ）行為、あるいは彼らの律法の解釈とは異なる解釈に基づいた行為のことを指していました。イエスはこの考えを完全にひっくり返し、人間の内側を罪深くするのは、外側から来るものではなく、私たちの心の内側で起こるものであり、それが罪と汚れの根源なのだと言いました。私が言うまでもないことかもしれませんが、もちろんイエスは、ここで私たちが食事をすると手に付着する細菌について医学的に語っているのではなく、こうした宗教的儀式について具体的に語っているのです。通常、私たちが体に入れるものといえば、食べ物を思い浮かべますし、食べ物は律法を守るための主要な要素（正しい食べ物を食べるか食べないか）でもあったので、イエスはその具体的な例えを用いて、この部分の解釈を示しています。食べることによって体に入れるものは、体を通すだけなので、あなたを汚すことはできないと、イエスは主張しました。マルコによる福音書では、ここにさらに、イエスはすべての食物を清いと宣言されたという解釈を挿入しています。これは、イエスの死後、クリスチャンがユダヤ人の食習慣に従わなければならないかどうかをめぐって、教会において論争があったことを考えると、非常に重要な点です。この福音書の著者であるマルコは、基本的に使徒ペテロのイエスに関するメッセージを書き留めた人でもあり、使徒言行録10章で、すべての食べ物は清いものであるという神からの直接のメッセージを幻視（ビジョン）で受け取ったのはペテロでした。そして、その幻視（ビジョン）を受けたことにより、ペテロは異邦人であるローマの百人隊長とキリストを分かち合うようになりました。ゆえに、マルコがペテロの関連について言及するのは理にかなっていると考えられます。

では、イエスがここで言いたかったことはなんなののでしょうか？ユダヤの宗教指導者たちが長年にわたって定めてきたすべての伝統、規則は、十戒と律法が明るみにした問題を何一つ解決することができませんでした。その問題とは、私たちの罪は私たちの行動ではなく、私たちの心の中から始まるので、誰もが十戒や律法が定めた戒めを本当に守ることができないというものです。エレミヤ書17:9は、私たちの心の自然な状態、私たちの本当の姿を次のように描写しています。⁹人の心は何よりもねじ曲がっている。それは癒やしがたい。だれが、それを知り尽くすることができるだろうか。マルコによる福音書には描かれていませんが、マタイによる福音書に描かれた山上の説教の部分で、イエスは、律法の命令に外面的に従うことが、本当に（心から）従うことと同じではないことを明らかにしています。マタイによる福音書5章で、イエスは心の中で人を憎むことは殺人を犯すことと同じだと言われています。また、男が女に欲情することは姦淫を犯すことと同じだとも言っています。ファリサイ派のあらゆる規則が、憎しみや欲望、あるいはマルコによる福音書7:21にある罪のリスト、淫らな行い、盗み、殺人、²²姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさを防ぐことができないのは明らかです。

イエスが救い主として宣言し、体現している福音は、恵みの福音です。私たちの心は創造主である神に反抗し、罪を犯しているので、私たちは誰一人として（心から）聖書が定める律法に従う能力を持っていません。ここで、冒頭の教理問答の問いへの答えに戻りましょう。律法の目的とは、「..... 私たちが神の聖なるご性質とみこころを知り、私たちの心の罪深さの本質と不服従を知り、それによって、私たちには、救い主が必要であるということを知ることです。」ファリサイ派の人たちは、（罪の）問題の解決とはならないたくさんの外的な規則のリストを（人々に）与えました。しかし、（罪の問題を解決するためには、ファリサイ派の人々が与えた）規則に従って律法を守るのではなく、新しい心が必要でした。ファリサイ派の人々が教えを諭していた対象の人々は、罪の中で死に瀕し、路頭に迷っていたのです。私たちの周りには、また、罪の中で死に瀕し、路頭に迷っているのです。私たち一人ひとりの心の中に存在する罪の性質のせいで、神の命令を守る能力そのものがないのだから、これらの死にそうな人々に（フ

アリサイ派の人々のように) 規則を与えても無意味です。これらの人々が必要としたのは、福音(良い知らせ) だったのです。だからこそ、私たちは神の恵み、神の憐れみによる純粋な罪の赦しを必要としているのです。そして、教理問答への問いの答えは、「また律法は、私たちが救い主の御前にふさわしい人生を生きることがを教え、勧めます。」と続けられているのです。マルコによる福音書全体を通し、またイエス自身が指摘しているのは、ファリサイ派の人々が教える律法主義やリベラリズムとは対照的に、イエスのみが律法が求める内面の変革、心の変革、罪からの救いを生み出すことができるという事実です。だから、イエス自身は**マタイ5:17**で次のように言っています。¹⁷**わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思っはなりません。廃棄するためではなく成就するために来たのです。**旧約聖書の中で、聖書全体を通して、神が私たちに、律法を通じて神聖さの基準と善悪の定義を与えていることは事実です。しかし同時に、イエス・キリストの完全な従順と私たちの罪の身代わりとなった十字架での死によって私たちに与えられた力、すなわち、私たちの罪深い心を改心させ、純粋な心に変える力を経験しない限り、神と近い交わりを持ち、律法の規則に従うことは決してできないということもまた事実なのです。ですから、今日のメッセージは、あなたの人生をきれいにし、神の御言葉に従いなさいというものではありませんし、そうすることも私たちにはできません。そうではなく、イエス・キリストを信じ、彼を主であり救い主として受け入れ、神の恵みのみによって、私たちの誰もが完全に従うことのできない律法を完全に成就したキリストの義を受け取ってくださいというものです。キリストに従う者として、私たちは神の御言葉と神の命令に従順であろうと努めていますが、その従順に従う力をイエス・キリストとその義のみに謙虚に頼ることがなければ、私たちは日々従順に神の御言葉や命令に従うことは決してできません。だから、私たちの日々の祈りは、**ローマ人への手紙12:1**の祈りであるべきなのです。**…あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい…**。私たちは、自分自身に死に、すなわち自分の努力、能力に頼るのではなく、また、自分の欲望に支配されるのではなく、また規則を守ることによって変えられるのではなく、**ローマ人への手紙12:2**にあるように、「**…心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい…**」と書かれているように、イエス・キリストとその方のみによる再生と新生によってもたらされる人生を生きなければならないのです。では、祈りましょう。

Mark 7:1-23 Understanding God's Law

Today's passage, Mark 7:1-23, returns to a group that Jesus interacted with in Mark 3 as he is confronted by the Pharisees, the Jewish religious leaders. And I want to point out up front that the point of this passage is dealing with the purpose of the law, the 10 Commandments. So I want to begin by reminding us of our New City Catechism question number 15 that says, since no one can keep the law, what is its purpose? And the answer is... *That we may know the holy nature and will of God, and the sinful nature and disobedience of our hearts; and thus our need of a Savior. The law also teaches and exhorts us to live a life worthy of our Savior.* Jesus is addressing that purpose of the law in this passage today. With that in mind, let's read verses 1-12 of Mark 7.

7 Now when the Pharisees gathered to him, with some of the scribes who had come from Jerusalem, ² they saw that some of his disciples ate with hands that were defiled, that is, unwashed. ³ (For the Pharisees and all the Jews do not eat unless they wash their hands properly, ^[a] holding to the tradition of the elders, and when they come from the marketplace, they do not eat unless they wash. ^[b] And there are many other traditions that they observe, such as the washing of cups and pots and copper vessels and dining couches.) // ⁵ And the Pharisees and the scribes asked him, "Why do your disciples not walk according to the tradition of the elders, but eat with defiled hands?" ⁶ And he said to them, "Well did Isaiah prophesy of you hypocrites, as it is written, "'This people honors me with their lips, but their heart is far from me; ⁷ in vain do they worship me, teaching as doctrines the commandments of men.'" ⁸ You leave the commandment of God and hold to the tradition of men." // ⁹ And he said to them, "You have a fine way of rejecting the commandment of God in order to establish your tradition! ¹⁰ For Moses said, 'Honor your father and your mother'; and, 'Whoever reviles father or mother must surely die.' ¹¹ But you say, 'If a man tells his father or his mother, "Whatever you would have gained from me is Corban"' (that is, given to God)—¹² then you no longer permit him to do anything for his father or mother, thus making void the word of God by your tradition that you have handed down. And many such things you do."

The Pharisees may have come to Jesus with a question about washing hands, but Jesus uses the opportunity to address a much larger issue. Jesus uses the opportunity to address two contradicting ideas, the traditions of men and the commands of God. 7 times Jesus mentions traditions of men or commandments of men and contrasts that with the Commandments or Word of God. So let's begin by understanding what he is talking about. First, **What are these traditions of men?** The *First* thing you need to know is that this is referring to the oral tradition of Jewish Rabbinical teaching that was eventually written down around 200AD in what is known as the Mishnah. The Mishnah relates to the Torah or the law. The Torah is the 10 Commandments in Exodus 20 and all the related commands that are given to Moses in the first 5 books of the Bible that collectively are called the Torah. In an attempt to actually keep the 10 commandments and the related commands that come from those original 10 and form the Torah, the Jewish Rabbis by their tradition found 613 commands in the Torah and then gave their instructions for how to actually follow those commands. Jesus is pointing out some of the ways that they had come up with to follow these commands. Of course the present issue was the ritual washing of hands. This wasn't a simple washing the dirt off of your hands before eating food. There were specific ways to wash their hands. Before a meal they would pour a little water over their hands, and raise them slightly so the water could go to their wrists, then they would have to lower their hands and rinse them and let the water run off their fingertips. That was just a regular meal. And the comment about the washing after returning from the market in verse 4 may have implied the requirement of a full body bath from being out in the impurity of the marketplace required before eating. Now, the only actual requirement for washing of hands in the Law, the Torah is for the priests. Exodus 30:18-20 says, ¹⁸ "You shall also make a basin of bronze, with its stand of bronze, for washing. You shall put it between the tent of meeting and the altar, and you shall put water in it, ¹⁹ with which Aaron and his sons shall

wash their hands and their feet. ²⁰ When they go into the tent of meeting, or when they come near the altar to minister, to burn a food offering^d to the Lord, they shall wash with water, so that they may not die. So, only Aaron and his sons, in other words, the priests were required to wash before entering the tabernacle to worship. The point was ritual purity signifying the need for spiritual purity and holiness in the worship of God. From that simple command, these rabbis had over the years lost sight of the point of holiness and replaced it with an extensive system of external washings. And the requirements of the Jewish rabbis went beyond these washings to every aspect of life. Even in the years since Jesus, Orthodox Jews have continued to add to these rules. Such teachings like not looking into a mirror on the Sabbath day so you aren't tempted to pull a gray hair you may see and therefore work on the Sabbath, are an example of how far the Mishnah goes in its attempts to put external rules in place so you can "keep" and "obey" the law.

Secondly, you have to understand that by Jesus calling these traditions of man, it was actually offensive to these religious leaders. They put these Rabbinical teachings on the same level as Scripture itself. They were not simply commentary on the 10 commandments or application such as would be made in a sermon. To the Scribes and Pharisees, these traditions and teachings had almost the same authority that the written Word of God has in the Torah. Ultimately, this is the real conflict in this situation. Is the written Word of God going to be authoritative or are there other teachings that are on the same level as God's Word? This is still in many ways the question and problem today. How could the United Methodist Church approve homosexual marriage and ordination? The reason that could happen is that the Bible no longer has the authority in that denomination. The subjective feeling of modern human society has so influenced the way that so-called Christian theologians and leaders within that denomination and others view the Bible that they place their idea of tolerance and love above the clear commands of Scripture. Jesus is addressing this very thing in his move away from the ritual washings to bring up their false idea of Corban. What was happening there is that the religious leaders had actually found a way to give religious support to contradicting Scripture and in that case add money to their pockets as well.

The 5th of the 10 Commandments found in [Exodus 20:12](#) says, [12 "Honor your father and your mother, that your days may be long in the land that the Lord your God is giving you."](#) Normally this would mean in at least some way that the children or at least the sons or oldest son would be responsible for providing financially for invalid parents if that became necessary. Well, just like society today, there were undoubtedly sons who did not want to honor their parents in that way by taking care of them with their money and possessions. The Rabbis and religious leaders over the years had come up with a "work-around" to ignore the fifth commandment. They said that if you dedicated by a vow your money and possessions to God and to the work of the temple then that vow to God would supersede your obedience of this command to honor your parents. You have to understand, this vow worked more like what we have in tax codes today called "deferred giving." You basically legally will a certain portion of your assets to a charitable organization and at your death that organization receives those assets. But of course, during your lifetime, you continue to use those assets however you see fit. This is what was happening with Corban. The son would continue to spend the money on himself however he wanted, and at his death, that money would go to the temple. The key was he was allowed by this act to tell his parents he could not spend his money on them because that money was dedicated to God. So, like many modern versions of so-called Christianity today, they found ways to sound spiritual while very clearly disobeying the commands of God. So, the problem with the Pharisees is two fold: they were both legalists in adding to the scripture in order to define Godliness. And, they were like modern liberals who found ways to ignore Scripture and not obey it, which means they were essentially rejecting it.

We have basically already answered the second question, **What are the commands of God?** These are the 10 Commandments for sure, but really all of Scripture is in Jesus's mind. That's why he says in verse 12 that they are **making void the Word of God**... not just a specific command in the Torah. So Jesus is essentially saying that their man made religious traditions intended to bring them into holiness and a right relationship with God, instead put them at odds with the very Word of God they claimed to obey. So, the Pharisees were missing the point of the law, they were missing the point of the Word of God. So what is the meaning of these commands of God that are represented by the 10 commandments in the Old Testament if it is not to outwardly conform to them in some sort of legalistic way or to find ways around them? This is what Jesus addresses now with the people in the area and then his disciples. Look at verses 14-23. **¹⁴ And he called the people to him again and said to them, "Hear me, all of you, and understand: ¹⁵ There is nothing outside a person that by going into him can defile him, but the things that come out of a person are what defile him."^[e] ¹⁷ And when he had entered the house and left the people, his disciples asked him about the parable. ¹⁸ And he said to them, "Then are you also without understanding? Do you not see that whatever goes into a person from outside cannot defile him,¹⁹ since it enters not his heart but his stomach, and is expelled?"^[f] (Thus he declared all foods clean.) ²⁰ And he said, "What comes out of a person is what defiles him. ²¹ For from within, out of the heart of man, come evil thoughts, sexual immorality, theft, murder, adultery, ²² coveting, wickedness, deceit, sensuality, envy, slander, pride, foolishness. ²³ All these evil things come from within, and they defile a person."**

Jesus provides the answer first to the crowds gathered and then inside the house with just his disciples he expands on it. What we learn is that for the pharisees, sin was what you did with your actions that violated the law or even their interpretation of the law. Jesus flips this idea completely and says that it is not what comes from outside a human being that makes them sinful on the inside, but what happens inside our hearts that is the basis of sin and defilement. I may not have to say it, but of course Jesus is not speaking medically about germs on our hands when we eat, but speaking specifically of these religious rituals. Normally when we think of putting things in our bodies, we think of food, which was also a primary component of keeping the law (eating or not eating the right foods), so Jesus uses that specific illustration. He says that whatever you put into your body by eating can't defile you, because it just passes through the body. Mark inserts the interpretation of this that Jesus declared all foods clean by saying that. This is important because of the arguments that come into the church after Jesus leaves over whether Christians have to follow Jewish food customs. Also, remember Mark is basically writing down the apostle Peter's account of Jesus, and it is Peter who in the book of Acts chapter 10 who receives a direct message in a vision from God saying that all foods are pure. And with that vision, God prepares Peter to share Christ with a leading Gentile Roman centurion. So, it makes sense that Mark reflecting Peter might mention this connection.

So what is Jesus's point here? All the rules that the Jewish religious leaders had put in place over the years were doing nothing to address the problem that the 10 Commandments and the law brought to light. That problem is that none of us can truly keep those commandments because our sin begins in our heart, not our actions. [Jeremiah 17:9](#) describes the natural state of our heart, of our true self, when it says, [The heart is deceitful above all things, and desperately sick; who can understand it?](#) In the sermon on the Mount, not found in Mark, but found in Matthew, Jesus makes clear that outward conformity to the commands of the law is not the same as truly obeying them. In Matthew 5, Jesus says that to hate someone in your heart is the same as committing murder. He also says that for a man to lust after a woman is the same as committing adultery. Clearly all the rules of the Pharisees will not prevent hatred, lust or any of the list of sins in verse 21, here in Mark 7...**evil thoughts, sexual immorality, theft, murder, adultery, ²² coveting, wickedness, deceit, sensuality, envy, slander, pride, foolishness**...

The gospel that Jesus proclaims and embodies as our Savior is a gospel of grace. None of us is capable of actually keeping the commands of Scripture, because our hearts are in rebellion and in sin against our Creator God. So, to bring it back to our catechism question we began with. In part the purpose of the law is so... *That we may know the holy nature and will of God, and the sinful nature and disobedience of our hearts*... The Pharisees gave a list of rules that failed to address the real problem. You don't keep the commandments by following rules, you need a new heart. The people that the Pharisees were teaching were dying and lost in sin. The people all around us are dying and lost in sin. You don't give a dying man rules, you give them the gospel because they cannot keep the commands of God because of the sin nature that exists within each one of our hearts. We need the grace of God, the forgiveness of sin purely out of God's mercy because we can never earn it or deserve it. And so the catechism question continues that the Commandments show the *disobedience of our hearts*... *and thus our need of a Savior*. The entire book of Mark and Jesus himself is pointing to the fact that in contrast to the legalism or the liberalism taught by the Pharisees, Jesus can produce the inner transformation, the heart transformation, the salvation from sin that the law requires, but cannot bring about apart from Jesus himself. So, Jesus himself says in [Matthew 5:17, 17](#) "Do not think that I have come to abolish the Law or the Prophets; I have not come to abolish them but to fulfill them. It is true that in the Old Testament law, in fact in the Bible itself, God is giving us his standard of holiness and his definition of right and wrong. But it is also true that unless we experience the transformational power of Jesus Christ to convert or to change our sinful hearts into a pure heart through his perfect obedience and sacrificial death on the cross for us, we can never obey a list of rules to be made right with God. So, our message is not and cannot be one of clean up your life and conform to God's Word. Instead, it is believe in Jesus Christ, and accept him as your Lord and Savior and by God's grace alone be given the righteousness of Christ who perfectly fulfilled the law that none of us can fully obey. As followers of Christ, we are seeking to be obedient to God's Word and to God's commands, but if we base that obedience on anything but a humble dependance on Jesus Christ and his righteousness alone, we will fail in that effort. So daily our prayer should be that of [Romans 12:1](#) that we would...[present our bodies as a living sacrifice, holy and acceptable to God](#). We must die to ourselves, to our own efforts to our own abilities to our own desires and live our lives being changed not by rules, but as [Romans 12:2](#) says "[transformed by the renewal of our mind](#)..." which comes by regeneration and New birth through Jesus Christ and him alone. Let's pray.